

とうきょう すくわくプログラム

令和7年度

認定こども園青戸福祉 0・1才児

テーマ 『光と色』

テーマ設定理由

日当たりの良いテラス環境を活かし「光」をテーマとして設定しました。天井に映った光の動きを子どもがじっと見つめていた様子から、子どもたちの興味関心をさらに広げていきたいと考えました。又、光に繋がる環境を探っていく中で、「何色？」と色への興味も同時に広がっている様子があり、子どもたちの興味関心をさらに深めていきたいと感じたため、このテーマに設定しました。

6月 0才児

テラスに水の入った袋を用意しました。

その中に透明な玩具を入れると、太陽の光を受けてキラキラと輝きます。

その光を目で追い、手を伸ばす子どもたち。

『きれいだね～』『つかめるかなあ』保育者の声かけに反応し
四つ這いになりながら、つかみ取ろうとしています。



掴もうと手で押すと、水の動きと共にキラキラの玩具も一緒に動きます。
『あれ？つかめない？』
光を目で追いながら、なんとか掴もうと集中して遊んでいました。

7月 0才児



テラスでの水あそびの際、色の付いた氷を用意したところ、透明氷よりも興味を持ち、指で触っている様子がありました。また色の付いた水を袋へ入れると透明な水よりもそちらを好んで遊んでいました。スライムでも2色を用意してみると不思議そうにそれぞれを指でつつきます。色付きの方が視覚的に刺激になるのか、意欲的に触れてみる姿がありました。

8月 1才児

テラスで水遊びを楽しんでいる様子です。

初めは透明の水に触れることから始まり、園児が水に慣れてきた頃合いから色水や色氷をテラスに用意します。

『色が変わった?!』

『何色だろう〜?』

溶けた色水をお玉で掬って移し替えていると色が変化する事に気付いたり、氷を陽の光の下に置いておくと『溶ける』という性質に気付いて自分で実験して楽しむ姿にも繋がっていくのでした。。



9月 1才児



毎年この時期になると、ダイナミックにボディペインティングを楽しんでいます。

手や足で直接絵の具の感触を楽しんだり、直接触ることが苦手な園児もタンポ筆を使うことで安心して絵の具に触れる姿がみられます。

『やわかいね!』

『紫になった〜!』

感触だけでなく、色が混ざり合って変化する様子にも気付く姿がありました。

10月 0才児

部屋で小さなスタンプと絵の具を用意し、白い模造紙を色付けました。



ポンポン、グニャグニャとまっ白な模造紙に色が付く感触を楽しみながら、リズムカルに描いていました。

『あお!』とお気に入りの色を見分けると、目の前の模造紙が大好きな色で埋まるのを楽しんでいました。色の名前を伝えながら色付ける事で色の認識に繋がっている様子がありました。

11月 0才児



色の入った積み木を用意して保育者が覗くと真似をして覗き込んでいました。赤や黄色、青色の水が入った積み木を覗いて友達や周りを見て景色や色の変化を楽しんだり、水の境目を覗いて水の揺れや光を楽しんでいる様子でした。黄色や赤色は好んで覗き込んでいましたが、青色は眉間に皺を寄せて嫌がる子もいました。



12月 1才児



様々な色のスライムを用意しました。
2色をくっつけると『あれっ？』

たくさん混ぜていくと
『ぶどう色になったよー！』
色の変化に気づきました。



スライム遊びは年度の初めから設定しています。子どもたちが少し色に興味を持ち始めた時は三原色を用意し、子ども達が自由に混色を楽しめるようにしました。混色して別の色が出来たことで様々な色に触れられ、遊びの中で色の名前を覚える機会となりました。

1月 1才児

セロハンを貼ったうちわを用意し、地面に色付きの影が映ることを発見しました。自分の好きな色のうちわを手にした子ども達。うちわの色と同じ色の影が地面に出現すると大興奮！地面に映し出される色付きの影を「赤！」「青！」「黄色！」と声に出して指さしながら楽しんでいました。



うちわを重ねて色が混ざる様子も観察できたらと思いましたが、今回は混色を楽しむよりも、色付きの影を動かしたり、足でダリする事に興味が向いていた為、今後継続して混色などの遊びへと発展させていきたいです。

1月 1才児



冬になり陽が早く沈むようになった夕方の時間で光遊びをしました。光ボードの上にマグビルドで作った家を乗せ、部屋の電気を消すとぴかーっと光りだします。それを見て「きれいだね」とうっとり見つめる子どもたちでした。部屋の暗さと光のコラボレーションで心が落ちつき自然と小声で話し始める姿が見られました。



ランタンにマグビルドを被せてみました。マグビルドの色によって漏れてくる光の色が変化します。今度はランタンの持ち手にマグビルドを挟んで壁に近付けてみました。するとランタンの模様や色が浮かび上がりました。同じ物を使用しているけれど遊び方によって楽しみ方が広がっていききました。



↑光ボードにマグビルドを重ねて色の変化を楽しみました。絵の具と違うのはまた単色に戻ることができる。繰り返し色が混ざり合う様子を楽しみました。



1月 0才児



大判のスカーフを吊るすと、その陰に隠れて友達がどんな反応をするかな？と確認したり、透けて見える景色を不思議そうに見たりしています。走ってくぐり抜けるとサササの布の感触を顔全体で感じて、くすぐったさに思わず笑顔になりました。

さらに、わらべ歌に合わせて上からドームの様に膨らませ、子どもたちを包み込むと大興奮！布の色を変えると見える景色も変わり、今日はどの色にしようかな・・・と、色を選ぶことも楽しむ子どもたちでした。



2月 1才児

とても色鮮やかなオクトレンズという玩具。低月齢児は自分の目にくっつけて周りを見渡すと「赤になった！」「〇〇ちゃんのお顔の色が違う！」と興味津々。高月齢児は自分なりにくっつけて立派な作品を作る事を楽しんでいました。作品が完成すると色々な角度から眺め「ここが綺麗だね」と会話をする場面も見られました。



3月 0才児



カラフルなガラスの積み木です。吸い寄せられるようにじっと透き通る色を見つめたり、どこまで高く積むことができるかチャレンジしたり・・・手に握った時に感じる、少しヒヤッとしたガラスの質感に驚いた表情を浮かべる子もいました。



3月 0才児



「あわ！あわ！」と覚えてた言葉を使って大興奮のバブルタワー。泡の中に入っている宝石のようなキラキラした石を指差して、自分の驚きと発見を保育者に伝えようと一生懸命な子どもたち。友達と次々と変わる色の変化を一緒に眺めて楽しんでいました。